

京都革新懇

No201 会員ニュース 2009年 4月 20日 発行

日本の平和と民主主義・革新統一をめざす京都の会
<http://www.kyoto-kakusinkon.com>

〒606-8397
京都市左京聖護院川原町4-13 教育会館別館
TEL/FAX共用 075-724-8270

全国革新懇の 3つの共同目標

- ①日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

全国総会・全国交流会は10月24・25日に奈良市で開かれます。

ホームページ

地域・職場革新懇の活動紹介
会議・交流会・講演会などの紹介
ニュース・出版物紹介

<http://kyoto-kakusinkon.com>

京都革新懇第30回定期総会報告 2009年4月10日

「職員会館かもがわ」にて 地域・団体から62人が参加

開会あいさつ 谷内口代表

京都革新懇は、来年が結成30周年です。今年の確かな前進をさらに積みあげて、記念すべき30周年をむかえよう。本日の定期総会に、岩橋京都総評議長の連帯あいさつをいただけることに感謝しています。労働者階級の結集の新しい一歩となる記念すべきことです。

現在の情勢は、くらしと雇用・平和と民主主義をまもる運動のさらなる前進と、政治の革新を切実に求めている。総選挙勝利へ総力をつくそう



連帯あいさつ 岩橋祐治・京都総評議長

定期総会の場であいさつできることを光栄に思います。経済危機のなかで、雇用問題が深刻化し、ワーキングプアが急増しています。40万人もの派遣切り・解雇が生まれるの調査もあります。3月末に厚労省は全国で19万2000人が失職し、京都は2550人が失職と発表しました。

いま労働者と国民の反撃が始まっています。150の企業で1800人が労働組合に加入したたかっています。京都でも15の争議、たたかいがあります。とくに20代、30代が



あいさつする岩橋議長

立ちあがっていることが、大きな変化であり希望です。パナソニック、トヨタ、キャノンなど大企業に全労連の旗が多数打ち立てられた。街頭での宣伝を重視しているが、ピラの受取りは抜群。「頑張ってください」の激励もたくさんあり、街頭でカンパも寄せられています。マスコミも注目し、いすゞ自動車での労組結成をNHKはその日の

トップニュースで「いま労働者がたちあがりました」と放送しました。ハローワーク前でのアンケート活動をNHKが放送し、私もインタビューを受けた。

329府民のつどいが5000人の参加で大成功した。1989年消費税闘争以来の大集会になりました。それにむけてとりくまれた、「なんでも・連帯ひろば」は4回実施され、348人の来訪者・相談者があり、ボランティアものべ518人の方が参加しました。また「09年春の府民総行動」にも2700人が参加しました。来春の知事選へ住民のいのちとくらしをまもるたたかいに、全力をあげる。

いま新自由主義・構造改革路線からの転換が求められています。革新懇運動の出番の情勢だと思えます。同時に、労働組合の役割も重大、存在意義をかけてたたかう。

5月23・24日に京都で「非正規で働く仲間の全国交流会」が開かれます。



閉会あいさつ 森川代表

激動の情勢のなか、たたかいと運動の前進・発展を反映した活発な討論となり、意義深い総会として成功しました。

派遣切り、仕事切りなど資本の横暴に対して、「負けてたまるか」「あきらめない」と、労働者、中小企業・業者、青年、女性が、地域で職場で立ち上がっていることが、共通のものになりました。

さらに、地域革新懇の活動の再開・強化の発言が相次いだことも確信です。全体として、革新懇の出番の情勢を裏付け、実感できた総会として成功しました。

革新懇の「三つの共同目標」を座標軸にして、来るべき総選挙での勝利と、来春の知事選挙で「いのちとくらしをまもる府政」の実現めざして頑張りましょう。



職場・組織革新懇から報告

「反貧困ボランティア」活動や329府民つどいなど多くの団体から多彩な活動が、紹介されました。

大平 勲（教育センター、国民救援会）

京都革新懇30年の活動にたくさんの思い入れがあります。山城地域での革新懇の活動再開に頑張りたい。

高い学費が社会問題となっています。国際人権規約に明記された「学費無償の原則」をいまこそ日本で実現をめざすことが必要です。学費ゼロネットが大変奮闘してします。全国でも先進的なたたかいとも共同して頑張りたい。

裁判員制度がいよいよスタートします。4月25日に大谷昭宏さんを講師に、「裁判員制度を考える府民集会」が開かれます。ぜひ積極的の参加と協力をお願いします。

坪井 修（京商連事務局長）

1月から3月にかけて、労働者のたたかいにも学び、「あきらめないで民商に相談を」の大運動を展開した。94万枚の相談ピラを配布し、その運動を通して650人の商工新聞読者が新たに増え、237人が入会した。「父さんは無理というけど、ピラに『あきらめないで』と書いてあるから相談にきました」など、反響が多数あった。

相談を通じて多くの成果を切り開いた。「税金滞納を理由に、出産一時金を差し押さえられて生きていけない」と、インターネットで民商をみつけた青年から相談があった。すぐに交渉して、全額無条件で返還させた。

10/31から11/2に全国中小商工業研究集会在京都で開かれます。清水寺の森清範氏が講演されます。さらに、西陣織物工業組合が後援してくれることにもなりました。大きく成功させたい。

長谷川 幹（民青同盟京都府委員会委員長）

2月から毎週土曜日に京都駅で「反貧困ボランティア」活動を実施してきた。明日11日で10回目となります。とりくみへ期待と反響が広がっています。

大きなボストンバッグ2つをかかえ、サンダル履きで考え込んだ青年に会いました。ある清掃関係の会社でヒドイ労働実態に耐えられず、全国を転々として京都にたどり着いた青年もいます。行政の緊急の対応が必要となっています。この間のとりくみでつかんだ内容をもとに、京都府と京都市に対して、申し入れと要請行動を行ないます。

大学で新入生歓迎運動の成功に全力をあげています。現在、昨年 of 拡大実績を大きく上回る新入生が民青同

盟に加わってきています。今年の新入生は、経済危機を反映して、これまでにない不安や悩みをかかえて入学してきています。民青同盟は、新入生の「生きづらさ」を励まし、その根源に何があるかをいっしょに学ぼう、そして変えようのよびかけに共感が広がっています。4月19日「派遣村から生き方を考える」企画、4月29日資本論ゼミなどの新歓企画を大きく成功させ、100人を超える仲間を4月に増やすために全力あげたい。

森下 総子（新婦人京都府本部会長）

若い世代のくらしと生活が大変になっている。妊婦健診アンケート運動にとりくみ、「14回健診の無料化」の実現をめざしてきた。国民的運動の高まりのなか、政府の緊急対策によって14回の健診の無料化が実現した。ただし2年間の期限つき。いまこれを突破する運動にとりくみ、厚労省交渉を行い、前向き回答を引き出した。どうしても実現したい。

若い世代の女性は、環境・平和の問題への関心も高い。地球温暖化防止へ「シロクマ」宣伝や寸劇宣伝など工夫してとりくんでいる。「ママ友9条の会」の運動も発展している。



森 吉治（京都府職労委員長）

一年後の知事選の勝利にむけて全力をあげる。山田府政は「あたたため予算」を打ち出した。5万人雇用の創出、公募型公共事業の推進、入札制度の改善など、この間の府民の運動とたたかいの大きな前進を反映したものだ。

しかし、根本的には対処療法でしかない。府民のくらしと雇用を本当にまもろうと思えば、構造改革路線と対決が必要だ。ところが、山田知事は構造改革推進の立場。道州制導入の推進役も果している。

4月9日に京大の岡田教授を講師に学習会を開いた。要求運動、共同の運動を画期的に広げていく。

中尾 牧（京都母親連絡会会長）

全国母親大会の成功にむけた協力、ほんとうにありがとうございます。現在までに、大山崎町、京丹波市、南山城、京都市が後援してくれることになりました。

京都母親大会は、5月31日に綾部で開催します。「綾部市政を変えたい」と地元から強い願いと声が届いています。

提案があります。全国大会での大物産展にぜひ、京商連のみなさんの積極的な出店をお願いします。

細野大海（日本共産党京都府委員会書記長）
地道な活動の努力に心から敬意を表します。解散総選挙が5月にあるとも言われています。どんなにのびても4ヶ月後には必ずあります。新しい政治の流れの実現にむけて全力をあげたい。

3月7日、志位委員長の経済講演・懇談会を開き、12万事業所を対象に訪問・対話活動にとりくんだ。「虚業ではなく実業を」の一致点など、新しい対話が広がった。志位委員長も「自然体で気持ちが通いあった」の感想を寄せています。いまこれの特集した京都民報を届ける運動にとりくんでいる。

下京補欠選挙の結果は、低投票率のなか共産党だけが比例票をのばした。自公は64%、民主党は42%にとどまった。選挙戦の様相は、相手陣営は「政策で訴えるものは何もなかった」状態で、「自由主義経済を否定する共産党」「安保を否定する共産党」と、反共攻撃に終始した。

いま政治の根本を問い、その転換をめざす対話と共同を広げることが焦点となっている。

北村喜義（全京都建築労働組合副委員長）
春の大運動を大きく展開し、5月定期大会の成功に全力をあげている。

くらしと雇用まもる大闘争を展開してきた。1月の

府庁前座り込み行動には3日間で500人の組合員が参加した。この行動は大きな意義をもった。

府民公募型公共事業を実利のあるものとする運動を展開する。さらに、耐震改修助成、住宅改修助成などの実現にむけた運動をさらに強化する。

自殺者が3万人超えたの報道があった。京都は自殺率が高い。「いのちをまもる」共同のたたかいが求められている。329府民つどいは、京建労の仲間が多数参加して成功することができた。5月2日憲法集会の成功にむけてさらに奮闘する。

梅木のりひで

（日本共産党京都府会議員団副団長）

議員団に、危機突破プロジェクトチームを結成してたたかいを共同のたたかいをすすめている。「現場へ」を合言葉に、府民の生の実態と声の結集に総力をあげている。

京丹後での事業者との運動の連携、府立高校の定員増を実現する運動、学費ゼロネットの運動など、みなさんと共同した運動と連携しながら、先程来出されているような様々な運動の成果をつくりだしてきた。

いま生み出した変化を、府民のくらしと雇用・営業を本当にまもることに役立つものにするために、府民の声と要求を結集して全力をあげる。

品川正治氏講演会 「人間の目でみた日本経済」

（京都革新懇・北上革新懇主催）

3月27日（金）西陣織会館 6階展示室にて



京都革新懇は講演会の内容をまとめた冊子の発行を企画しています。

経済同友会終身幹事・全国革新懇代表世話人の品川正治氏を招いて、講演会を開催。「戦争、人間、9条、新しい政治 人間の目でみた日本経済」と題して行なわれ、約330人が参加。品川氏の一言、一言に静かに聞き入っていました。

品川氏は、自身の重い戦争体験をなぜ今話すのか、そして、終戦後中国からの日本への復員船の中で、新聞に掲載された日本国憲法草案をみなの前で読み上げ、「戦争放棄をうたい、軍隊を持たない」との9条のところで、感激のあまり全員が涙したことを紹介し、「戦争は天災ではない。起こすのも人間なら、それを許さず止めるのも人間。いつも『おれはどっちなんだ』と問いかけることが生きる座標軸となった」とふり返りました。

平和の問題でも経済の問題を考えるうえで「人間」に「生き方の座標軸」をおくことが大事と強調。

経済的にも、アメリカの価値観とは違うこれからの日本経済をつくっていくうえで、一人一人の主権者が発言・行動することが大事。

品川正治さんとお会いして

左京・平民懇 会長 倉知三夫

3月27日夜、西陣織会館での「人間の目で見た経済へ」と題した講演の前、少時、旧制第三高等学校（現京都大学吉田学舎）の同窓の誼で、直接面談する機会を得た。（品川氏昭和20年文科甲類卒、倉知昭和24年理科卒）

品川さんの講演・著作は多数で広い分野に及んでいるが、「戦争のほんとうの怖さを知る財界人の直言」や「これからの日本の座標軸」などは特に感銘をうけた本である。

品川さんは、戦時中の三高自由寮の総代として、また弁論部に属して、青春をカントの純粹理性批判などの哲学書に学び、当時の教授と生徒との愛情に充ちた関係など、戦後に卒業した私にも共通する三高生活の話題で懇談できた。また、品川さんとは、日本国憲法の前文の精神と、九条の不戦平和の行動指針（座標軸）を完全に共有することを確認でき、心強い先輩を得た喜びを味わうことができた。

経過と方針提案、決算と予算案の提案と承認

・・・野口事務局長

327品川講演会は、330人の参加で大きく成功しました。講演をパンフにして普及したいと考えます。

全国革新懇ニュース4月10日号は、京都の各地の革新懇の記事がたくさん掲載されています。この間のみなさんの努力のなかで、革新懇の姿が見えるようになってきました。2年前の澤地・講演会でのアンケートでは、「革新懇を知っている」が約5割でした。今回、品川・講演会ではアンケートでは全員が「知っている」と答えています。

現在までに、京都市内では1行政区で9つの革新懇が活動しています。いま、宇治・久御山に続き、伏見、下京、亀岡、綾部など各地で活動再開の準備がすすめられています。10月の全国交流会までに、

1全国ニュースを1300人まで拡大し、来年の京都総会までに1500を超える読者の建設

2すべての市町村を網羅する革新懇づくりの2つの目標をめざします。

事務局については、企画力の強化と機動性を高める体制と活動の強化をはかります。

財政は、2年間で借入金を完済することができました。みなさんの多大な協力に厚くお礼を申し上げます。



役員の方針提案と承認 越智事務局長

世話人76人、常任世話人24人が提案され、承認されました。

全国革新懇ニュースの普及を

京都革新懇拡大推進本部 本部長 伊藤邦雄 (京商連会長)

全国革新懇ニュースの普及をよびかけます。読者は昨年1年間で103人の増勢で、1100人を越えることが出来ました。(目標は1300人)。教訓は、地域革新懇の活動の再開・強化と世話人、事務局が意識的に追求したことです

テンポとしては、夏までに1200人、10月全国総会までに1300人の達成に努力することをよびかけます。

なお、全国母親大会物産店への出店の提案は心より歓迎します。

地域革新懇からの報告

野原孝喜 山科革新懇事務局長

山科革新懇を再開して2年がたった。会議の定例開催とニュースの定期発行に努力してきた。それが何より確信となっている。

山科の戦跡めぐり、平和塾のとりくみや文化企画など共同参加など、多彩に活動している。安保反対の世論と運動をもっと広げたい。ニュースの読者拡大にも系統的にとりくんでいる。山科の30か寺など訪問・対話活動を行なった。その努力の結果、この1年で読者は57人から75人へと前進した。

岡本やすよ 城民懇事務局長

1年間の活動を紹介したメモにあるとおり、活発に活動をすすめてきました。とくに、記念誌を作成する議論のなかで、「革新懇ってなに？」の声がだされ、それで昨年11月にそれをテーマに学習会を開いた。それが大きな力となった。

地域での横の共同・連帯を強めることを重視したい。9月には城陽市長選、同市議補欠選挙がある。4月25日に市政シンポを予定している。「水と土の会」を結成して、水をまもる運動を展開している。10月には9条の会で小森陽一講演会も開きます。もりだくさんの活動です。

藤原幸彦 南革新懇代表

南革新懇は、20数人の賛同を得て、昨年8月に結成した。会員も31人となり、全国ニュースも5人から40人になった。社会的連帯の強化が重要だ。ユニオン南の風が大きく前進している。たたかひの発展のなか組合員も2倍以上に増え、新春のつどいも成功している。共同の運動の前進に寄与できる革新懇の活動の強化をめざしたい。

革新懇ブックレット

「国民にあたたかい日本へ」

躍る各界二十一人の発言は活躍する分野や信条の違いを超えて、豊かな見識と感性で彩られています。
新しい日本の探求はいよいよ重要で、みなさんの一層のご援助、ご協力をお願い致します。

